



# 神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2010-2011年度 R I 会長 レイ・クリンギンスミス



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011年度 第2590地区ガバナー 川野 正久

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| ● 会長 横山 範夫      | ● 会長エレクト 加藤 仁昭  |
| ● 副会長 渡邊 淳之     | ● 副会長 月山 勇      |
| ● 幹事 飯田 泰之      | ● 副幹事 天野 公史     |
| ● 会計 朝日 達夫      | ● 副会計 田口 健太郎    |
| ● S A A 伊澤 政宏   | ● 副 S A A 小池 将夫 |
| ● 副 S A A 山本 芳弘 | ● クラブ会報 金森 欣一   |

●クラブテーマ「コミュニケーション」●



- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

2010-2011年度 第4号週報 No. 1658 2010年(平成22年) 7月23日 第1658回例会記録 7月30日発行

司 会 飯田 泰之 幹事

誕生日祝 青柳 紀 会員 (7月29日)

点 鐘 横山 範夫 会長

斉 唱 「手に手つないで」

四つのテスト 江森 国一 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)

ゲスト紹介

2010-11年度 R 財団国際親善奨学生 石田 美緒 様



本日〈7月30日〉のプログラム  
夜間例会

## 特別行事

2010-2011年度 R財団国際親善奨学生 石田美緒様 ご挨拶



神奈川県RCの皆様、こんにちは。昨年度、皆様からご推薦頂きまして、イタリア・ローマ大学文哲学部にて1年留学して参りました石田美緒です。今年度の留学期間は終了してしまいましたが、来年度も引き続きR財団奨学生としてローマ大学にて勉強を続けることになりました。

今回の留学以前に何度か旅行でイタリアに滞在したことはありましたが、やはり旅行で訪れるのと、勉強の為に生活しながら滞在するのでは大きな違いがありました。一番実感したことは、日本はとても治安が良いということです。留学期間中、常に自分のものが盗られないように気を使っていなければならないことが私にとっては一番のストレスでした。時間やルールに曖昧なことに対してはストレスに感じることもありました。そういうものだと割り切って生活するようにしていました。

あっという間の留学期間でしたが、思うように事が進まず、そのときは腹が立ったことも今思い出してみれば面白い体験です。

あと1年間、しっかり頑張ってきますので、引き続き皆様のご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

## 会長報告

横山 範夫 会長

・臨時理事会報告

## 幹事報告

飯田 泰之 幹事

- 先週に引き続き、地区大会「記念チャリティゴルフ大会」のお知らせと「記念チャリティディナーパーティー」の参加申し込み書を本日も回覧致します。参加を希望される方は名前を明記下さい。
- 次週、7月30日は夜間例会となります。

場所 14F アネックス 点鐘 18時

- 8月よりロータリーレートが変更になります。

1ドル=88円 (7月は1ドル=92円)

◎例会変更のお知らせ

\*横浜鶴見西ロータリークラブ  
平成22年8月18日(水) 休会

\*横浜南央ロータリークラブ  
平成22年8月10日(火) 休会

## 委員会報告

広報・IT委員会 委員長 田中龍太郎

先日7月20日、ホテルキャメロットで行われました地区R情報、広報・ITセミナーに、飯田幹事とともに出席しました。

まず、3年に1回開催される規定審議会の報告がありました。今年の4月25日から30日までシカゴで開催されました。

今回、Eクラブが正式に認められたこと、新世代奉仕が第5の奉仕部門になったこと、出席免除規定が変更になったこと、ほか多くの議案が決議、採択されたとの報告がありました。この変更点については、ロータリーの友、2010年6月号、横組み12~15ページに載っています。また、事務局に抜粋版の資料を渡してありますので、参考にして下さい。

ロータリー情報については、ロータリーに長くいる人でも、よくロータリーを知らないひとが多い。新入会員でも3年未満の退会が多いのは、入会時の教育によるのではないかとのことでした。皆さん、もっとよくロータリーを勉強しなさいと言う内容でした。なかなか大変なんだなと思ったと思います。

クラブの広報については、去年タクシーに貼っていたステッカーを、今年はすべてのロータリアンに配って貼ってもらうことを考えているようです。

私にとって、本題のクラブのIT化についてですが、担当の本牧RCの羽田さんよりお話がありましたが、なかなか専門的すぎて、まだそこまではと言う内容でした。こちらもロータリーの友2009年12月号に特集として横浜本牧RCのIT化について書かれています。

当クラブは、少しずつやって行ければと思いました。

## スマイルボックス

伊澤 政宏 SAA

青柳 紀君 ①蓼村にお越しの皆様、涼しさが一番のごちそうでしたネ。加藤さん、お手伝い感謝です。②お花は嬉しいけど全く嬉しくない誕生日です。

横山範夫君 国際親善奨学生 石田美緒さん、お帰りなさい。お元気でなによりです。

鴻 義久君 昨日の旧細則委員会の皆様、楽しかったですね。河野さん、ご負担かけました。

飯田 昇君 暑中見舞い申し上げます。

月山 勇君 先日のヘタッピープライベートゴルフ合宿では青柳さんには大変お世話になりました。同行の山本(登)さん、山田(富)さん、吉田さん、加藤さん、お疲れ様でした。

山本 登君 青柳さん、またお世話になりました。月山さん、山田さん、吉田さん、加藤さん、ご迷惑をお掛けしました。

河野明光君 ①まだ昨夜の酒が抜け切れてないようです。②石田美緒さん、お元気なお顔を拝見して安心しました。

飯田泰之君 石田美緒さん、ようこそいらっしゃいました。

山田富雄君 細則検討委員会の納会、河野さん、我妻さん始め、会の皆様、昨日は大変お世話になりました。また、月山さん、山本さん、吉田さん、加藤さん、青柳さん、先日は色々お世話になりました。また、よろしくご指導下さい！

伊東英紀君 古川先生、本日はありがとうございました。

川邊正男君 社業の為、早退します。

山田正憲君 国際親善奨学生の石田美緒さん、ようこそいらっしゃいました。イタリアのお話、聞かせて下さい。

須永久一君 先日のゴルフ同好会コンペのご参加の皆さん、お疲れ様でした。翌日入院して15日に手術でした。お蔭様で無事退院出来ました。

田口健太郎君 河野さん、我妻先生、昨日はお世話になりました。

脇田いすゞさん ただ、ただ、暑いです！

茂木知子さん ～「ガイアの夜明け」より～不況にあえぐスペインでは髪の毛を売る人が増えているそうです。男性もいるそうです。でも、売る毛のない人はどうするのでしょうか。

山本芳弘君 連日猛暑が続きます。皆様どうぞご自愛下さいませ。

小池将夫君 高校野球予選、いよいよ孫の三重野達樹がベスト8入りをかけて、明日、昨年の優勝校横浜隼人高校と戦います。保土ヶ谷球場でTV放送もされます。“祈る勝利”です。ご声援願います。日大高校、打順2番サードです。

伊澤政宏君 毎日暑い日が続きます。会員の皆様、お体に気を付けて下さい。

今年度、プログラム委員長になりました川邊です。

メンバーは、副委員長に須永会員、委員に山田富雄会員、青柳会員、山崎会員、高田会員です。

私にとっては苦手な分野ではありますが、委員会のメンバー、並びに会員の皆様のご協力の下、会長のテーマである「コミュニケーション」に沿って、精一杯頑張っていきたいと思っております。

卓話者の人選をお願いした際には、是非ともご協力をお願い致します。

また、今年度は第4週の卓話のところでは、当日のテーブルごとにその時のテーマに沿ってディスカッションをしながらコミュニケーションをとって頂くこととなりますので、会員の皆様のご協力で盛り上げていきたいと思っております。

一年間、よろしくお願い致します。

#### ◆広報・IT委員会 委員長 田中龍太郎



今年度の国際ロータリーのテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」と、当クラブのテーマ「コミュニケーション」の実現の為、活動して行きたいと思っております。

当委員会のメンバーは、副委員長に雨宮さん、委員に前委員長でありました赤堀さん、クラブのIT化には欠かすことの出来ない重要メンバー江森さん、そして知恵袋の我妻さんの5名です。

当委員会としては、地元地域社会の人々にロータリー情報を提供し、クラブの奉仕プロジェクトと奉仕活動について広報し多くの方の賛同を得られる事を目標とします。その前提として、クラブ内の「意志の疎通」（コミュニケーション）を計るためのツールとして、当クラブのホームページを活用したいと思っております。

そのホームページですが、前年度より運用に問題のありました業者から、新しい業者へと変更致しました。費用の面でも、以前の月額25,000円から月額15,000円へと手頃な保守管理料にして頂きました。

新年度が始まってしまいましたが、まず、ホームページのリニューアルを行い、いろいろな可能性について検討しております。

会員の皆様に、より身近に感じて頂けるよう工夫をし、なるべく早く新しいホームページがスタート出来るようにしたいと思っております。

7月23日	19件	34,500円
本年度累計		234,000円

#### 出席報告

森永 健 委員長

会員総数	56名	(42+14)名	
出席会員数	45名	(35+10)名	
出席率	86.54%		
ゲスト	1名	ビジター	0名
前回補正後	92.16%	前々回補正後	96.0%

#### 卓話

### 「新年度挨拶」

#### ◆プログラム委員会 委員長 川邊 正男





## ◆ R 情報委員会 副委員長 岩澤 利雄



吉田委員長が所用により欠席の為、代読致します。

一般的にロータリー情報委員会は地味な委員会であると言われていいます。それは、新しく入会された会員にオリエンテーションを行うこと、会員の皆様方に対しロータリーに関する情報を伝えることを基本的な活動とするからではないでしょうか。そう言うことを踏まえて、本年度委員会は堅実でベテランな委員で構成されています。

まず、第一の活動方針としまして、今年度の会長方針に沿って、月の第4回目の例会の卓話時に、SAAとプログラム委員会、または他の委員会と協議しまして、ロータリアンとしての責務と自覚を促すようなテーマを決めて、グループ討議を行っていきたいと思っています。

第二には、新会員へのオリエンテーションです。この場合、出来るだけ委員会のメンバー3人で、会員へのオリエンテーションを行って、色々な観点から新会員へロータリークラブの情報を伝えていきたいと思えます。その中には、ロータリアンとしての責務と、ロータリークラブの魅力をお話して、早くロータリークラブに慣れて頂き、ひいては退会防止につながれば良いかと考えています。

第三には、会員への情報提供です。RIの情報、地区の情報はもちろんですが、今年度はクラブの情報、特に初心にかえてチャーターメンバーに関わった方々から、クラブ誕生のいきさつなどのお話をして頂くか、また、現在、在籍されていない過去の会員で、現会員が知らない会員のエピソードなどのお話などをして頂くことが出来ればと考えております。

以上のようなことを中心にして活動していきたいと思っておりますので、皆様方のご協力をお願い致します。

## ◆ R 財団委員会 委員長 田口健太郎

この度、ロータリー財団委員長を仰せつかりました田口健太郎です。

本年度のロータリー財団におきましては、横山会長が示されました『コミュニケーション』というクラブ・テーマに基づき、友添副委員長を始め、西山会員・矢野会員・吉橋会員・横溝会員のサポートを頂きながら、ロータリー財団委員会の活動を推進して参る所存です。

ロータリー財団の使命は、皆様をご存知の通り『ロータリアンが

健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困の救済を通じて、世界理解、親善、平和を達成出来るようにすること』でありますので、ロータリー財団の『世界で良いことをしよう』という標語の基に、ロータリー財団の活動を行って参ります。

ここで申し上げておりますロータリー財団とは何か？新会員にご案内申し上げます。

ロータリー財団とは、「教育的プログラム」「人道的補助金プログラム」「ポリオプラスプログラム」の3点を実行する組織です。これらプログラムの活動実績として、まずは「国際親善奨学金プログラム」が挙げられますが、元国連難民高等弁務官で在られた緒方貞子さんや宇宙飛行士の山崎直子さんを国際親善奨学生として支援したという素晴らしい実績がございます。そして、ロータリーとWHOが提唱する「ポリオプラス」というプログラムにおいては、ポリオという病を根絶する為に、ロータリーが財政的な貢献を果たして問題解決に努めております。

このポリオとはどのような病気か？簡単にご説明申し上げますと、ウイルスによって感染する病で、感染当初は風邪を引いたような軽い症状であるものの、その後、急に手足が麻痺して動かなくなる病気です。アメリカ大統領のフランクリン・ルーズベルトもこの病を39歳で患ったそうで、現在ではナイジェリア・インド・パキスタン・アフガニスタンが常在国になっています。また、日本でも平成元年以降80件の発症報告があります。ロータリー財団では、このポリオを撲滅するためにWHO・ユニセフと連携して活動し、冒頭に申し上げました人道的奉仕活動を果たしております。そして、今年度のロータリー財団においては、「ポリオプラス」「未来の夢計画試験段階実施」「『毎年あなたも100ドル』を通じた年次基金の立て直し」「恒久基金の発展」という具体的な目標が掲げられることになりました。

また、これらロータリー財団の活動は、会員皆様の寄付によって支えられておりますので、「寄付」の種別についてもご理解を深めて頂きたいと存じます。

例年、ロータリー財団から会員の皆様をお願いしております寄付が「年次寄付」で、自動的に「財団の友」の会員として認められ、財団にとって必要不可欠な存在となっております。そして、この「年次寄付」によって集められた資金は、全額が3年後のプログラムの活動資金となっております。

その他の寄付としては、寄付の全額が活動資金となる「年次寄付」と異なり、集められた資金の全てを基金に元本として積み立て、その運用益のみを3年後の活動資金とする「恒久基金寄付」があります。

ロータリー財団委員会から毎年2名以上お願いしております「ベネファクター」とは、この恒久基金に1,000ドル以上の寄付を行って頂くか、もしくは遺産の受益者をこの基金に指定して頂いた方でございます。

ロータリー財団がその使命を果たし、地域社会や国際社会への貢献を果たす為には、会員皆様の寄付による資金面での援助が大変重要になります。また、本年度におきましても、地区から会員1名当たり120ドル以上の年次寄付と2名以上のベネファクター輩出という要請がございましたので、会員の皆様には、ロータリアンとしてロータリー財団活動への深い理解を賜りますとともに、温かいご協力をお願い申し上げます。



また、今後の課題として、「日本学生への支援・ロータリー財団との連携・地域別奨学金の格差」などに取組んで参りたいと思いますので、今後とも米山奨学事業について一層のご支援をお願い致します。



### ◆米山奨学委員会 委員長 山崎 善也

今年度、「米山奨学委員会」の委員長を仰せつかった山崎です。指名をお受けし、早速、米山奨学会の勉強を始めたところですので、未だ何も頭に入っておらず、委員会と致しましては、白鳥副委員長を始め、飯田昇会員・小池会員・大西会員の方々の強力な力をお借りして努力して参りたいと思っております。

さて、米山奨学会への寄付金は、今年度も地区の目標額として会員一人当たり、普通寄付金5千円以上・特別寄付金2万円以上、合計2万5千円以上と示されました。これは、ロータリー財団寄付金と同様に強制のようですが、川野ガバナーからのご意見としては「穏やかな強制」という表現が相応しいそうです。

米山奨学寄付金について、我がクラブの地区のデータをみますと、今までに特別寄付金累計額だけでは、51,909,140円という数字が表示されています。この額を年数と人数で割りますと、一名当たり平均26,300円となり、地区61クラブ中で断然トップの数字となっております。ちなみに2位は、横浜南の21,300円、3位は、横浜東の13,500円でしたが、この順位にはいろいろな要素がありますので、一概に論じることは出来ないと思います。

その他、関連する数字を挙げてみますと、現在、全国のロータリーアンからの寄付金は、年に約15億円で800名の奨学生が毎年採用され、2590地区では、本年度の枠は43名となっております。

現在、当クラブの活動と致しましては、継続生として、フェリス女学院の大学院で勉学に励んでいる曹 莹（ソウ・エイ）さんがおり、カウンセラーの横山会長が精神的支援などをされておられます。また、ホームカミング制度が出来、その第一号として、我がクラブが世話をし大変優秀な奨学生だった張 蕾（ジャン・レイ）さんが、一昨年度の地区大会に参加するなどの活動があって、当クラブの米山奨学事業に対する姿勢が高い評価を受けたことは、誇らしく思えるところであります。

10月にはガバナーの公式訪問があります。冒頭に申し上げた米山奨学寄付金につきましては、昨今、厳しい経済状況ではありますが目標額が達成出来ますよう重ねてお願い申し上げます。

米山奨学事業につきましては、その目的と使命である「奉仕の精神に基づいた国際親善の促進・日本文化の理解が出来る奨学生の支援・知的国際貢献への協力」などを努めていきたいと思っております。

## ロータリーミニ情報

### 「インドの遠隔地で医療使節団が大規模な奉仕活動」

去る3月、第3080地区のロータリアンのボランティアと医師、総勢37名の医療使節団が7日間、インドのマディヤ州にある遠隔地マンドラ地区を訪れ、約5万人を対象に大規模な医療奉仕活動を行いました。

この医療使節団は、ラジェンドラK. サブー元RI会長と、インドの副法務次官で第3260地区の元ガバナーでもあるビベック・タンカさんが組織したもので、いくつかの仮診療所に分かれて、医療施設を利用出来ない人々に健康診断、歯科治療、外科手術を提供しました。使節団には24名の医師のほかに9名のボランティアと4名の医療助手が参加しました。

サブー元会長は次のように話しています。「これは、医師たちが知識と才能のすべてを尽くして人々に奉仕する、職業奉仕の最も素晴らしい例ですね。医療を利用出来ない人たちに、医療を届けることが出来たんです」

サブー元会長は1998年以来、エチオピア、マダガスカル、マラウイ、ナイジェリア、スワジランド、ウガンダといった国々で多くの医療使節団を組織した経歴を持っていますが、今回の医療使節団は、それらのどれにも勝る多くの患者に奉仕の手を差し伸べることが出来ました。

RAHAT (Rotary's Active Hands Are Touching) と名づけられたこのプロジェクトの実施地として、マディヤ州政府と協力してマンドラ地区を選んだのは、タンカさんでした。州政府は医療ボランティア約400名にプロジェクトへの参加を依頼しましたが、この取り組みの規模はタンカさんの期待を大きく上回るものとなりました。

「患者数、ロータリーと州政府から受けた支援、そしてロータリーのパナーの下でチーム全員が力を尽くす光景。どれをとっても私の



# 神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2010-2011年度 R | 会長 レイ・クリンギンスミス



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011年度 第2590地区ガバナー 川野 正久

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| ● 会 長 横 山 範 夫     | ● 会長エレクト 加 藤 仁 昭  |
| ● 副 会 長 渡 邊 淳     | ● 副 会 長 月 山 勇     |
| ● 幹 事 飯 田 泰 之     | ● 副 幹 事 天 野 公 史   |
| ● 会 計 朝 日 達 夫     | ● 副 会 計 田 口 健 太 郎 |
| ● S A A 伊 澤 政 宏   | ● 副 S A A 小 池 將 夫 |
| ● 副 S A A 山 本 芳 弘 | ● クラブ会報 金 森 欣 一   |

●クラブテーマ「コミュニケーション」●



- 事務局 ● ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
- 例会日 ● 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
- 例会場 ● ホテルキャメロットジャパン ●創立記念日 昭和 51 年 5 月 29 日
- URL ● <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail ● [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

2010-2011年度 第4号週報 No. 1658 2010年(平成22年) 7月23日 第1658回例会記録 7月30日発行

司 会

飯田 泰之 幹事

誕生日祝

青柳 紀 会員 (7月23日)

点 鐘

横山 範夫 会長

斉 唱

「手に手つないで」

四つのテスト

江森 国一 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)



ゲスト紹介

2010-11年度 R財団国際親善奨学生 石田 美緒 様



本日〈7月30日〉のプログラム

夜間例会